

日南農林高等学校

【宮崎県】

宮崎市

福祉学ぶ生徒集う

県高等学校教育研究会 福祉部会 学習の成果発表

県高等学校教育研究会福祉部会(会長・押川尚生)日南農林高校校長)は二十七日、宮崎市の日章学園高(安藤忠次校長)で生徒学習会を開いた。福祉を学ぶ生徒たちが学習の成果や体験を発表し、意見を交換した。

押川会長は「生徒たちの活動を発表する場がなかった。若い人たちの間に福祉が広がる機会になってほしい」とあいさつ。今年初めて開催する



福祉について熱心に意見を発表する県高等学校教育研究会福祉部会の生徒たち

ことになった学習会が、生徒らの意欲を高める契機となるよう期待を込めた。

学習会には門川農、妻、日章学園、日南農林、高原高の福祉クラブ員二十三人が参加。介護実習やデイサービス、ボランティア活動、各校で取り組んでいる福祉活動について発表した。

高原高福祉生活科三年湯元誠君は「中学生の時からボランティアに興味があり、進学後、福祉の中にも多様な仕事があることが分かった。苦勞の中にもやりがいを感じる

し、これからも頑張りたい」と将来への意気込みを話していた。

高知中央高等学校

【 高知県 】

○

○

平成16年度 福祉健康コース

【点訳者】 岡野 啓介 岡本 豊生 中村 広樹 武田 利枝子
 大井 浩二 窪内 宏樹 高木 将行 名川 知秀
 平山 直也 和田 修明 三谷 伸 小笠原 啓介

以上 12名

【点訳指導者】 山田 裕子

【健康福祉コース 主任】 杉村 真

平成17年4月19日 下記の点訳本を高知点字図書館に寄贈

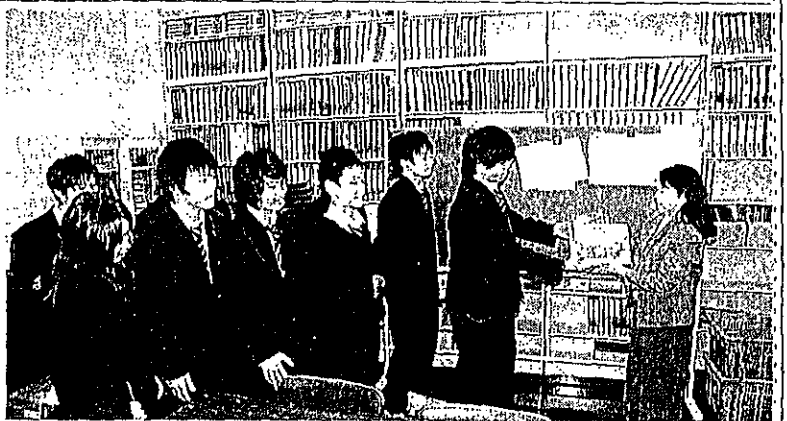
【寄贈図書目録】

『幸せをみつける魔法の言葉』
 『進がひらける魔法の言葉』
 『わすれられないおくりもの』*絵本
 『モミの木』*絵本

地域のニュース

2005年 (平成17年) 4月20日 (水曜日) ④ 毎日新聞 ④

山田館長に点訳本を手渡す高知中央高校の生徒



高知中央高生

授業で作りました

点訳本を寄贈

高知点字図書館に4冊

高知中央高校(高知市)枝子さんは、授業を履修し、大津(福地健康コース)3年の9人が19日、自ら手掛けた点訳本を高知市図書館内の高知点字図書館に寄贈した。点訳本2冊と点訳絵本2冊の計4冊で、点訳ボランティアの山田裕子さんを講師に迎え、1年間の授業で初めて作製した。

同コースでは、2年生で点字の読み書きの授業を受け、今回は「幸せをみつける魔法の言葉(97頁)」と「進がひらける魔法の言葉(92頁)」などの本を点訳した。武田利

枝子さんは「授業を履修し、眼の券売機にある点字などを自然に読むようになった。機会があればまた作りたい」と話していた。

【米山啓

2005年(平成17年)4月20日(水曜日) 高知新聞 The Shoketsu

山田館長に点訳絵本などを贈る中央高の生徒(高知市本町5丁目)



高知点字図書館に点訳絵本など寄贈

授業では一人一冊を分

担し、たっぷり1時間使

高知中央高校(高知市)大津乙の普通科福祉コースで学ぶ3年生らやの直しなので、一字九人が十九日、同市本町一字横町に点訳し、五丁目の高知点字図書館へ寄贈した。習来、福祉関係の仕事を始め、点字を学んだ経験を生かして、本など四冊を寄贈した。と振り返っていた。

同コースはホームヘルパー二級資格を目指す。◆マイ孫様みです。

磐田北高等学校

【 静岡県 】

○

○

飛



躍

I W A T A K I T A

— 新聞記事に見る磐田北高等学校 —

介護福祉士合格率 9割超

磐田北高福祉科1期卒業生



介護福祉士の合格証を手に母校に集まった県立磐田北高福祉科の卒業生＝磐田市見付の同校

36人、資格手に夢へ一歩

同校の福祉科は平成十四年度に新設され、一期生四十人が入学。学校での授業や近隣の特養ホームなど施設での介護実習に取り組み、介護福祉士試験の受験資格を取得、三十九人が受験した。一月に一次試験、三月に二次試験が行われ、三十六人が見事に合格。晴れて資格を手にした。

卒業生たちは四月から、社会福祉士や作業療法士などを目指して進学したり、介護現場に就職するなどそれぞれの道を歩み始めた。社会福祉士を目指す専門学校に進んだ加藤洋子さん（ひ）は「試験は三年間の集大成。受かって本当に良かった」と笑顔を見せる。

実習や朝学習、努力実る

磐田市見付の県立磐田北高福祉科を三月に卒業した一期生が、同月末に合格発表のあった介護福祉士の国家試験で92・3％の高合格率をマークした。全国平均では合格率42・6％という難関だけに、本人たちはもちろん、学校関係者の喜びもひとしおだ。

「と笑顔を見せる。浜松市の施設で介護福祉士として働き始めた菅崎沙織さん（ひ）は「三年から始めた毎日の朝学習が、試験に向けて知識を身に付けるのにも役立った」と振り返り、作業療法士を目指して専門学校で学ぶ平野陽子さん（ひ）は「お年寄りが生きがいを見つければ良いと思う」ができれば良いと思う」と将来の抱負を語った。

一期生を指導してきた伏見博美教諭は「生徒は合格を目指して三年間よく頑張った。非常に厳しい試験に多くの生徒が合格できたのは、学校全体の応援があったことも大きい」と話した。

* 「静岡新聞」
平成17年4月10日（日）

石狩翔陽高等学校

【北海道】

協力者の確保が鍵

「起き上がれるところまで起きましょ」

ベッドに横たわったお年寄り役の生徒に、介護士役の生徒が声をかけ体を支えた。石狩市の道立石狩翔陽高（光永正己校長、生徒数922人）で10月に行われた全国高校総合学科教育研究大会。総合学科の模範として、同校の社会福祉演習など60科目が公開された。

総合学科の制度は94年度から始まった。生徒に将来の目標設定をさせる「個性

総合学科

を伸ばす体験的・専門的学習を行う」ことを特色に掲げ、現在、道内に8校ある。同校は01年度、普通科を総合学科に転換した。1年生は「産業社会と人間」の中でさまざまな職業の人が実際に話を聞いたり、企業や大学を見学したりして、自分の「ライフプラン」を作成。それをみんなで発表・討論し、各自に自分の将来像を徹底的に考えさせる。2、3年生になると、資格の取得などに力を入れ、外国語、エアロビクス、

点字といった約120科目を伸ばす体験的・専門的学習を行う」ことを特色に掲げ、現在、道内に8校ある。同校は01年度、普通科を総合学科に転換した。1年生は「産業社会と人間」の中でさまざまな職業の人が実際に話を聞いたり、企業や大学を見学したりして、自分の「ライフプラン」を作成。それをみんなで発表・討論し、各自に自分の将来像を徹底的に考えさせる。2、3年生になると、資格の取得などに力を入れ、外国語、エアロビクス、

しかし、改善すべき点も多し。その一つに北大大学教育研究科の横井敏郎助教授（教育行政学）は「専門的に教える人をそろえるのが課題」と、授業への協力者の確保を挙げる。

た。だが、このようなケースはむしろ増えた。総合学科発足5年目の道立留辺薬高（網走管内留辺

新 教育の森

変わる高校

中

同校はかつて不登校や中退者を多数抱えた「教育困難校」。しかし、90年代後半には100人以上いた中退者は年間十数人へと激減した。佐藤博明教頭は「生徒に目的意識を持たせることが重要と実感した。別の学校に変身した」と話す。

生徒がお年寄りと介護士の役になって介護方法を学ぶ。石狩翔陽高校の社会福祉演習Ⅱ同校で10月21日



戸井町

136年の歴史に名残

来月1日 函館市と合併 道内初の閉町式

12月1日に渡島支部3と合併し、井上博司市長のメー「町旗降納」を行い、閉

始まり。主産業は漁業で人口は3805人（10月）。合併後は現在の町役場に戸井支所が置かれ、吉沢町長が特別職の支所長に就任する。

不正経理の隠へい工作を刑事事件として立件するかどうかについて、内閣は「法と証拠に基づいて適切に対処する」と応じているとまとめた。

【芳賀竜也】

改定見送りや他府県の状

外務省に19日入った連絡によると、7月28日に千島列島ウルフ島近くでロシア国境警備艇の臨検を受けた捕された根

鉢呂氏は「主體的に調査をしたとは言いがたい」